

2013年7月号

ほくし

発行所

社団法人 大阪北区歯科医師会

大阪市北区南森町1丁目4番28号

プールバール南森町205号室

TEL(06)6363-0016 FAX(06)6363-0046

平成二十五年
第一回総会(通常)

H25.5.31

HP



五月三十一日(金) 午後七時三〇分より大阪東急インに於いて社団法人大阪北区歯科医師会平成二五年度第一回総会(通常)が開催された。

高麗誠紀会長が仮議長を務め開会宣言を行った。次に点呼が行われ、現在の会員数一八四名、定款三九条による総会定足数九二名、本日の出席者五〇名、書面表決者四七名、委任状提出者十一名、合計一〇八名で総会の成立が報告された。議長、副議長選出は高麗

仮議長一任との提案があり、石崎好洋議長、戎文彦副議長が選出され、議事録署名人に十二班天羽隆先生、十二班清光義隆先生が指名された。続いて高麗会長が挨拶し「当会は今年十一月の法人移行申請の期限に向け準備を進め、二五年四月に新法人発足を予定しております。本総会に上程している昨年度の決算でお分りのように、当会の公益目的財産に相当する内部留保されている遊休財産額を順調に減らすことに成功しています。



これは年会費を徴収せず、従来の入会金特別会計を切り崩して会務を執行していることによります。入会金特別会計は本来、当会の財産である事務所の改装、改築または移転目的とするものです。また、当然の事ながら、先人達の財産でもあります。従って、新法人移行後の来年四月からは切り崩した会計分を上乗せした年会費の徴収が必要となることに十分なご理解を得たいと存じております。」と述べた。引き続き第三次高麗執行部役員紹介が行われた。報告事項の最初に物故会員および物故会員家族に対し弔慰黙祷が行われ、平成二四年度会務報告が佐々木裕専務理事よりなされた。続いて府歯代議員会報告が、天羽隆代議員よりなされた。報告事項の最後に班長、部員紹介が行われた。



議事に移り、第一号議案平成二四年度収支決算が三輪佳子常務理事より説明され、大浦寿哉監事による会計監査報告の後、満場一致で可決承認された。協議に移り新法人移行の進捗状況及び移行後の年会費の徴収について佐々木専務理事より説明がなされた。次に渡辺道雄前副議長に前執行部役員等の代表として感謝状が高麗会長より贈呈された。最後に大塚俊裕副会長の閉会のことは、石崎議長による閉会宣言により閉会となった。支部総会終了後、大阪府歯科医師会国保組合北区支部総会が開かれ、阪本光伸支部長より会務報告が行われた後、大阪府歯科医師連盟北区支部総会が開かれ、戎文彦支部長より会務報告が行われた。

パノラマ

日本経済は、アベノミクスと日銀の金融緩和と政策で回復傾向にあります。急速な円安と急速な株価の上昇は外国資本(ファンド)の流入による一時的なもののですが、これが実体経済の回復に繋がればと思います。また日本がTPP(環太平洋戦略的経済連携協定)に参加するとすると、各国間の関税が撤廃や軽減されるため、輸出大国である日本の経済はさらに上向くと考えられています。TPPは競争力のある大企業にとつて有利に働きます。しかし農業や医療においても外国企業との競争原理が例外なく働くこととなり、農業であれば食の安全や食料自給率の低下、また医療においては皆保険制度崩壊による医療格差の問題などが懸念されています。もし公的医療保険制度が崩壊すれば多くの医療難民を生み出し、基本的な人権である生命の営みを揺るがしかねません。また現在進められている社会保障制度改革についても動向を慎重に見守る必要があると思います。(E)

論説

歯科医師過剰問題

副会長 大塚俊裕



であることは明らかである。

国策としては、入学定員の削減や国家試験の合格基準の引き上げ、試験の難易度を上げて合格者数を減らすとしているが、平成二十二年調査では、初めて歯科医師数が一〇万人を突破し、急速な増加傾向を示している。そのため、受診患者数の減少、保険平均点数の下降などの影響を受けて経営状態が年々悪化している。

一九六〇年ごろ、齲蝕が社会問題となり始め、歯科医療の充実が叫ばれた。当時は、歯科医師を養成する学校は、東京歯科大学、日本歯科大学、日本歯科大学、大阪歯科大学の七校しかなかった。国は歯科大学の新設を推進し始めた。一九六五年までに新たに六校に歯学部が設置され、その後一九八〇年代前半には、二六校に歯学部が新設・増設され、現在、国立大学十二校、公立大学三校、私立大学二七校、合計一九九校あることは周知のとおりである。

平成二四年度、医科のあらゆる診療科すべての医師を養成する医学部定員は、文科省の増員計画が開始される中で八、九九一名、一方、歯科では私立歯科大学の四割が定員割れの現状の中でも、入学者数は二、三〇六名であることから歯科医師の供給が過剰

それに伴って全国的に歯科医師間での競争の激化、日曜診療や深夜診療等を行う歯科医院が増加している。大阪北区歯科医師会の区域内でも、このような歯科を取り巻く環境の中での入会金の支払いは困難との理由で、未入会に開業するものが増えていることは憂慮すべき現実である。

当会では、こうした歯科医師過剰問題を抱えながらも、日歯、府歯と連携し、地域医療推進に貢献しつつ、会員の研鑽のために様々な講習会を開催、未入会者をなくすための様々なシステム改造を検討し、全員一丸となつて歯科界の危機に立ち向かうとしている。

みおつくしの会

H25.6.15

HP

六月十五日(土)の午後一時三十分から大阪駅前第三ビル三十三階の「河久」にて、みおつくしの会が開催されました。

この日は天気がすぐれず、雨が強く降る中、十一名もの先生方にお集まりいただきました。

高麗会長のご挨拶、佐々木専務の会務報告に続きまして、大塚禮三先生による乾杯の音頭で、みお

つくしの会がはじまりました。

毎年恒例の先生方の近況報告におきましては、多くの貴重で参考になるお話をいただきました。会では野口副会長の挨拶で無事終了いたしました。なお、会には

ご欠席されていましたが、安田昭二先生がめでたく八〇歳になられ、長寿のお祝いとして記念品をお送りさせていただきました。おめ

り、府から余剰金の額、収入、事業のための支出のバランスが悪いと指摘されていました。今回も、今後の安定した公益事業の実施のため、来年以降の安定した収入を確保すべきであろうと顧問とも確認しています。

移行認可申請報告

専務理事 佐々木裕

一般社団法人への移行認可の申請について、ご報告いたします。現在は十一月に申請を行うための書類を作成しております。中心となる移行申請書の中身については、顧問と相談しながら大阪府医療看護課との間で内容についてのキャッチボールを行っているところです。主に、継続事業の公益性について判断を仰ぎ、指導を受けています。それに従って、財務の数字を落とし込んでいます。以前よ

り、府から余剰金の額、収入、事業のための支出のバランスが悪いと指摘されていました。今回も、今後の安定した公益事業の実施のため、来年以降の安定した収入を確保すべきであろうと顧問とも確認しています。

先日の総会では、協議事項として挙げさせていただきましたが、事務所の維持管理と事業の安定を考えると、現在減額中である年会費を、改めて設定していかねければならないと思います。そ

とどうございます。

ご出席の先生方は大塚禮



三先生、猪木一成先生、坂口喜史夫先生、加納晴彦先生、緒方満先生、黒川森夫先生、大西馨先生、坪井康修先生、橋本收先生、横野明弘先生、中谷勝先生でした。いつまでもお元気で過ごしてください。

(執行部出席者) 高麗会長、野口副会長、佐々木専務、土岐理事、洪里部員、吉崎部員

(担当理事・土岐一仁記)

計報



池畑 勝 先生(班外)

平成二五年五月二六日死去
御略歴

昭和二〇年一〇月七日生

昭和四五年三月

大阪歯科大学卒業

昭和四八年十一月

北区曾根崎新地一三一一六

京富ビルにて開業

編集後記

梅雨も明け本格的に暑くなつてまいりました。お体には十分お気をつけくださいます。(広報部)

